

広報交流協会

No.2 2023年3月

フォスターシティ市から33名稲城市を訪問！

令和4年10月22日・23日に開催された「第21回Iのまち いなぎ市民まつり」の日程に合わせ、フォスターシティ市民33名が稲城市を訪問しました。

滞在中は市民まつり他市内の視察や市民との交流会、また市民団体等を招待した懇親会を行いました。特に市民との交流会は大好評で、同市との初めての交流は大成功を納めました。



歓迎懇親会にて



お出迎え

参加・協力いただいた皆様へ心より感謝申し上げます。今後も活発な交流を企画してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております！



コーラス



ゴンドラ



懇親会にて皆で踊った「稲城祭」



書道パフォーマンス



弓道



茶道

★プログラム★

【1日目】市民まつり視察、弓道・茶道体験、歓迎懇親会
【2日目】百人太鼓見学、市民交流会(稲城市の小中高生による稲城市のプレゼンテーション、市民女性コーラス団による歌唱、駒沢学園女子中学高等学校書道部のパフォーマンス)、よみうりランドゴンドラ体験

フォスターシティ市とペンパル活動を開始(海外交流委員会)

令和4年、稲城市民とフォスターシティ市民の小・中・高校生を対象に、異文化交流体験として「ペンパル」の希望者を募集しました。その結果、50組を超えるペンパルが、楽しい交流を始めることが出来ました。

前項で紹介したフォスターシティ市からの来訪時には、上記ペンパル参加者のうち、希望者10名が「稲城の紹介」や合唱・書道パフォーマンスを披露し、当日は大いに盛り上がりました。

今回の活動に参加された稲城市立稲城第二中学校2年の勝田理紗さんは、感想として次のように述べています。

「私が応募したきっかけは、チラシでアメリカの学生とメールで交流することで、海外の方とコミュニケーションをとれることにとっても魅力を感じたことです。フォスターシティ市の中学生とやり取りをし、学校にプロムがある事やガレッジセールなどアメリカの生活を知ることができ、今まで以上に外国に興味を持ちました。言語が違うため、度々翻訳機を使いましたが、これまで以上に勉強し、英語を話すという目標も出来ました。ありがとうございました。」

今回のペンパル企画は前項のフォスターシティ市訪問よりも前にスタートした、稲城市とフォスターシティ市との最初の市民交流と言えます。成功を納めたこの企画を、今後も形を変えて継続していきたい所存です。

フォスターシティ市姉妹都市協会 会長にデイビッド・サイトウ氏

令和4年11月4日、フォスターシティ市の姉妹都市協会会長がスティーブ・オカモト氏からデイビッド・サイトウ氏に交代する連絡がありました。サイトウ氏はハワイ出身の日系アメリカ人4世です。UKLA卒業後JETプログラムで日本に2年、ハワイ大学で8年間教鞭をとり、かつMBAを取得しました。日本で3年間働き、12年前からフォスターシティ市に居住

しております。サイトウ氏が昨年12月に家族と日本を訪問するという話があったことから、稲城市にお越しいただき市長、副市長、当協会正副会長と会食をした後、市内視察へのご案内しました。



フォスターシティ市に向け 日本語教室を実施(海外交流委員会)

令和3年中にフォスターシティ姉妹都市協会会長より「令和4年10月の稲城市訪問の前に、参加者のうち希望する方に対し、オンラインで簡単な日本語やマナーを教えてください」との要望がありました。

これを受け、海外交流委員会の会員が8回にわたり、フォスターシティ市民訪問団へ日本語講座を実施しました。

姉妹都市・友好都市への道標が設置された

これまで稲城市は、平成3年に北海道(大空町)と姉妹都市提携を結び、平成27年には福島県相馬市、長野県野沢温泉村と友好都市協定を締結しました。

また、海外においては、令和2年にアメリカ合衆国カリフォルニア州フォスターシティ市と姉妹都市提携を締結しています。

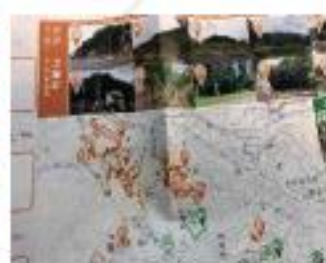
これらを市民に広く周知し、交流の促進のきっかけとするため、姉妹都市・友好都市(国内の大空町・相馬市・野沢温泉村)及びアメリカ、フォスターシティ市への方角・距離を示した道標が設置され、令和4年9月28日、当協会理事や稲城市長他関係者による除幕式が開催されました。



稲城市防災訓練にてオリジナルハザードマップを配布(地域交流委員会)

市民の皆様に防災意識を持っていただくため、当協会オリジナルのハザードマップを作り、これを防災訓練会場のブースにて配布、説明をしました。

ハザードマップは日本語版のみならず、英語版、中国語版、韓国語版、ベトナム語版の5種類を作成しており、協会HPでも掲載しています。



野沢温泉村を訪問 (国内交流委員会)

令和4年11月23日(祝・水)から翌24日(木)にかけて、交流協会の国内交流委員会による野沢温泉村視察訪問が行われました。

参加者は交流協会の安東会長、今泉国内交流委員長をはじめ、稲城市観光協会からも2名の職員が加わり、全員で11名となりました。

今回は「市民レベルの交流」の足掛かりとするための訪問として位置づけ、まずは先方の関係者との顔合わせから始めました。

23日夜の懇親会では野沢温泉村役場から竹井観光産業課長、富井係長、観光協会関係者として嶋田理事、佐藤事務局長が参加し、相互交流の進め方などについて話し合いの機会がありました。

翌日は村長を訪問し、挨拶とこれからの交流についてお話させていただきました。富井村長からは、野沢温泉村は外国人の入国規制が緩和されてきているのでインバウンドでの収入が見込まれる事、外国籍の人との結婚が増えてきているというお話を伺いました。また、オーストラリア人がクラフトジンとウイスキーの製造を始めるというお話も伺えました。

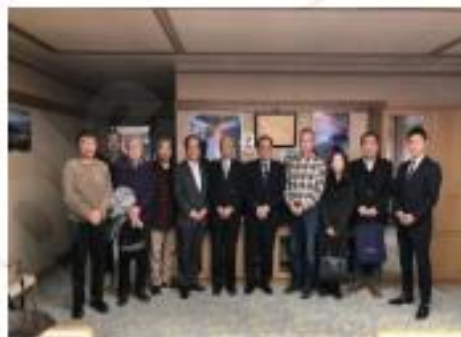
帰りの車中、委員からは、稲城市からスキーツアーだけでなく、山菜取りのツアーや稲城っ子が宿泊体験で訪れている民宿等への宿泊ツアーなどの企画をしてみたらという意見も出ました。

2日間、野沢方面はあいにくの雨でしたが、まずは当初の目的である先方との関係を構築でき、また委員相互の懇親も深まり、実りの多い視察となりました。

合同物産市が開催

令和4年10月21日、国内姉妹友好都市である大空町、野沢温泉村合同物産市が開かれました。

大空町コーナーではカボチャ(栗番丁・雪化粧)、ジャガイモ(スノーマーチ、キタアカリ、男爵)、ごぼう、レッドキャベツが、野沢温泉村では農産物(米、野沢菜)の他豆類、加工品などが並びました。当協会員も販売に立ち合いました。



新しく理事になりました！ よろしくお願ひします



石橋 良生

稲城生れの稲城育ちで仕事しながら、皆さんにささえられ三つ子の子育てをしてきた。今後は皆さんのお役にたきたい。また、交流協会を盛り上げていきたい。



田中 智之

矢の口幼稚園、七小、3中と地元で育ち現在矢野口に住んでいる。市民の皆さん、地域の皆さんと一緒に交流活動を行い、稲城をもっと知ってもらいたい。



藤井 博之

向陽台に30年以上在住、今後は地元とより関わっていききたい。また、外国観光客向けガイドボランティア活動を約3年継続してきており、この経験を活かしたい。



山根 稔

東長沼在住。妻と子供2人、稲城歴7年。野沢温泉村とコラボ企画の経験があり天然の雪で滑り台を作ったり、野沢菜を使った料理を提供したことがある。

姉妹都市フォスターシティ市と相互の市民交流はじまる



稲城市姉妹友好都市交流協会主催、フォスターシティ市訪問ツアーが2月4日から3泊5日で行われ、11人の訪問団がサンフランシスコ空港経由で渡米しました。

最初の訪問地、ビーチ・パーク小学校ではヘッドホンを渡され、校長先生自らが案内してくれました。また小学生が学校生活を説明してくれました。

次にラグーンに向かいボートに乗って市内の住宅地、とりわけシリコンバレー北側の高級住宅地を眺めました。初日夜は盛大な歓迎会を開いていただき、和やかな食事会となりました。

2日目はフォスターシティ市民との交流会が行われました。

最初、稲城市の子供たちとペンパルでつながっている14～17歳の子供たちがフォスターシティ市のまちや学校での生活を紹介してくれました。私たちからは各自の夢や稲城市との交流に望むことを質問しましたが、どの子供もしっかりとした考えを持ち生き活きと発言したのは印象的でもありました。

その後のプレゼント交換では、高橋稲城市長にフルミンフォスターシティ市長から特注のストリート・サイン(道路名板)が渡されました。表には「Inagi City」とプリントされ、裏には「Takahashi BLVD」(高橋市長道り)とかかれてあり、高橋市長もとても感激されていました。

稲城市からのプレゼントは、画家であり、絵手紙作家である大西邦子さんの作品で、日本の神話をモチーフにした掛け軸をおくりました。フォスターシティ市にはわずか2日間の滞在でしたが、一行は本当に心のこもったおもてなしを受け、最後は皆さんでバスを送っていただきました。



編集後記

昨年のワールドカップで森保監督率いる日本サッカー「まだ見ぬ景色」求めての試合もすばらしかったが、今回のWBC特選日本の試合もこれまたチーム一体感となったことにより、各人が能力を発揮、結果的には日本中が沸き上がり凱旋、素晴らしい結果となった。(藤田)

稲城市姉妹友好都市交流協会

発行責任：安東 道正

編集：藤田 佑二